



Coloriage

白黒写真を色付けする



CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- Linuxでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - 色の選択
 - 事前処理
 - ツールとオプション
 - 色付けのヒント
 - 操作例の画像を使って色付け
 - 環境設定
 - 印刷
- 操作例
 - 白黒写真の部分的に色付け
 - 部分的な非彩色化
 - 車体の色の変更
 - 古い絵はがき
- AKVISプログラム

AKVIS COLORIAGE 14.0 | 白黒写真を色付けする

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

AKVIS は、**写真を自動的に色付け(カラー化)する最先端の技術**を実現しました。これにより、写真の色付けに関する今までの考えはがらりと変わるでしょう。

AKVIS Coloriageを使用すると、昔の白黒写真をカラー写真として蘇らせるなど、イメージの色を自由に操ることができます。

たとえば、祖母に彼女の学生時代の白黒写真のカラー版をプレゼントしたり、車の車体の色を変更して目立たせたり、髪の毛を赤に染めたときの印象を確認してみたりすることもできます。

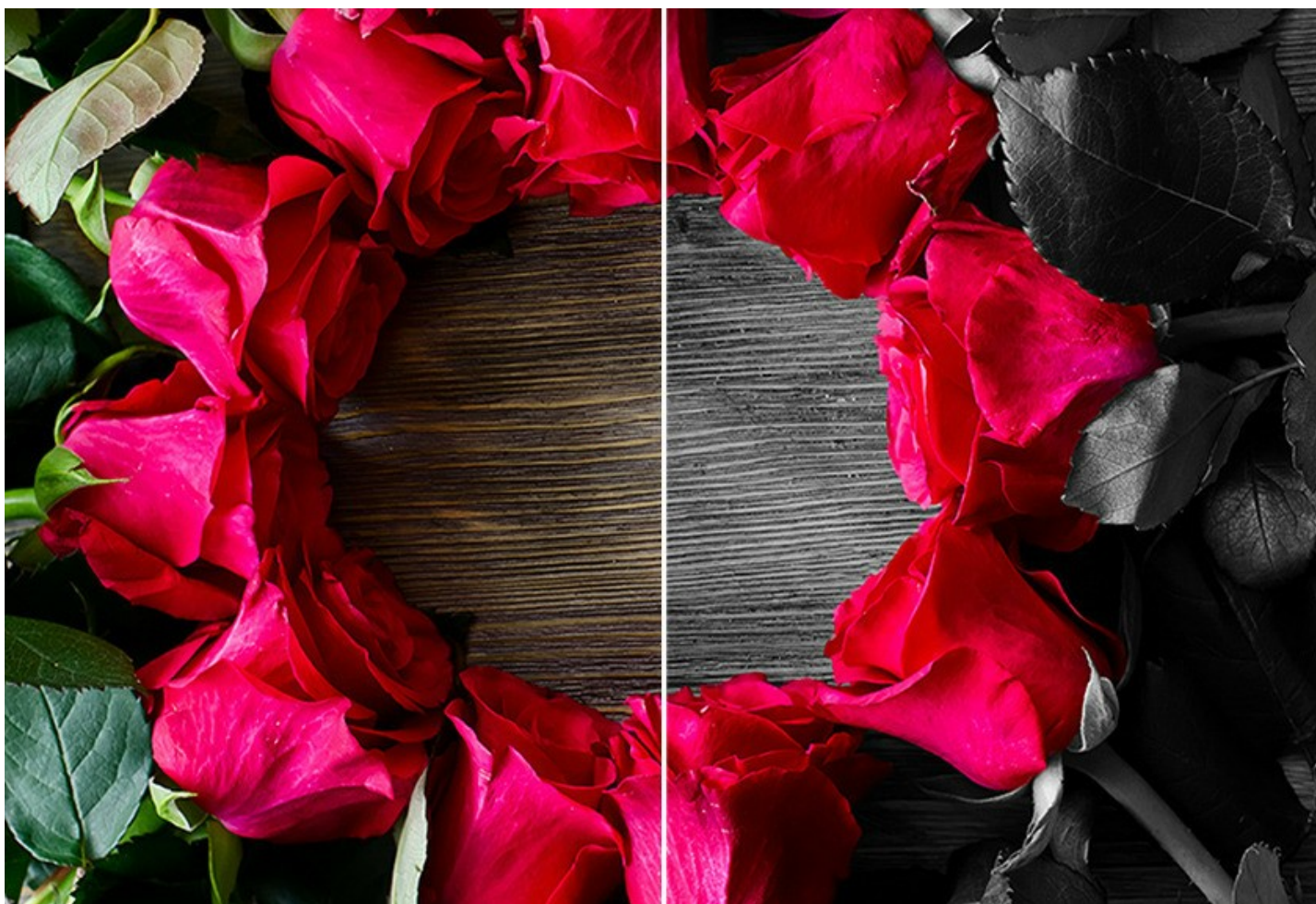


AKVIS Coloriageでの色付け作業は、簡単で楽しく、自然な仕上がりを実現できます。人物写真、景色、ファッション、静物画など、種類を問わずその効果を発揮します。肌、空、草木などの色はあらかじめ用意されているパターンから選択することができるため、より自然な色合いが得られます。

創造力をフルに活用すると、ソフトウェアの使い方のバラエティは、一層広がるでしょう。何の変哲もない写真からカラフルな背景を作ったり、赤目の除去にソフトを使用したり、部分的な色の修正を行ったり、部分的な非彩色化/色付けなど、用途は様々です。



AKVIS Coloriageの操作は塗り絵のように簡単です。レイヤーの操作や複雑な手法はまったく必要ありません。また、思い通りの結果が得られないときのストレスもありません。すべてが数回の描画作業で完了できるのです。色を指定してブラシで描画するだけで、境界の識別や、元の写真との色の調整など、残りの作業は自動的に処理されます。



AKVIS Coloriageは以下の用途で使用できます。

- 白黒写真を色付けする
- 手描きのスケッチに色付けする（漫画の下書きなど）
- カラー写真の色を変更する
- 内装と外装のデザインで異なる色彩を試してみる
- 部分的な非彩色化と部分的な色付け

他にも用途を挙げるときりがありません。自分で使用してみて、このソフトウェアの効果を最大限に引き出してみてください。

創造性をかき立てられること間違いなしです。



このソフトウェアは、2つのバージョン、つまり、**スタンドアロン** プログラムとして、またフォトエディタの**プラグイン**として使用できます。

プラグイン版は[AliveColors](#)、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、Corel PaintShop Proなどと互換性があります。プラグインの互換性に関する詳細は、[対応表](#) をご覧ください。

WINDOWSでのインストール

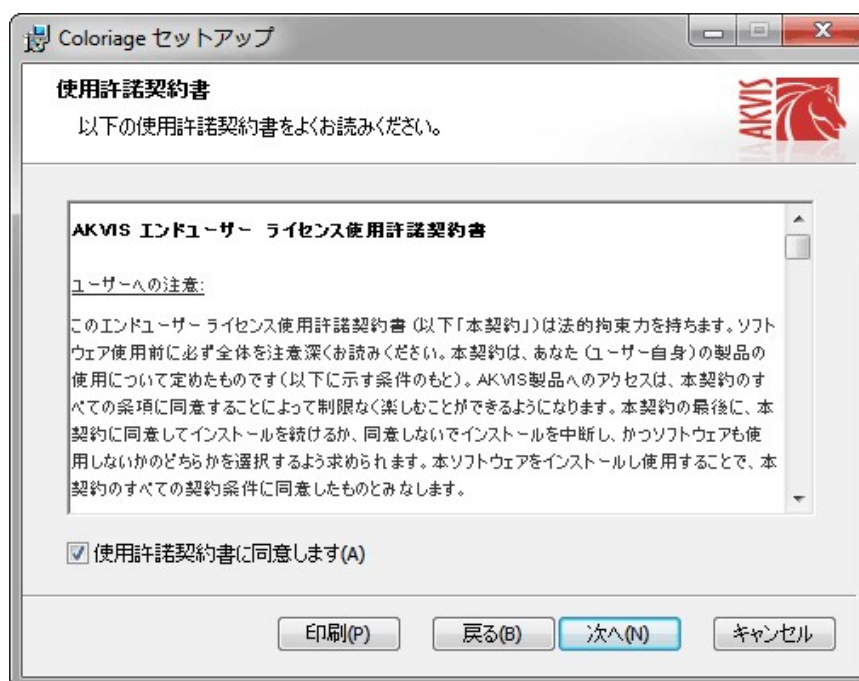
AKVIS Coloriage を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

注意:このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

AKVISプログラミンをインストールする前に、ご使用のフォトエディタが終了していることを確認してください。インストール中にフォトエディタが開いたままの場合、それを再起動する必要があります。

1. セットアップ用の **exe** ファイルをダブルクリックして起動させます。
2. 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
3. インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

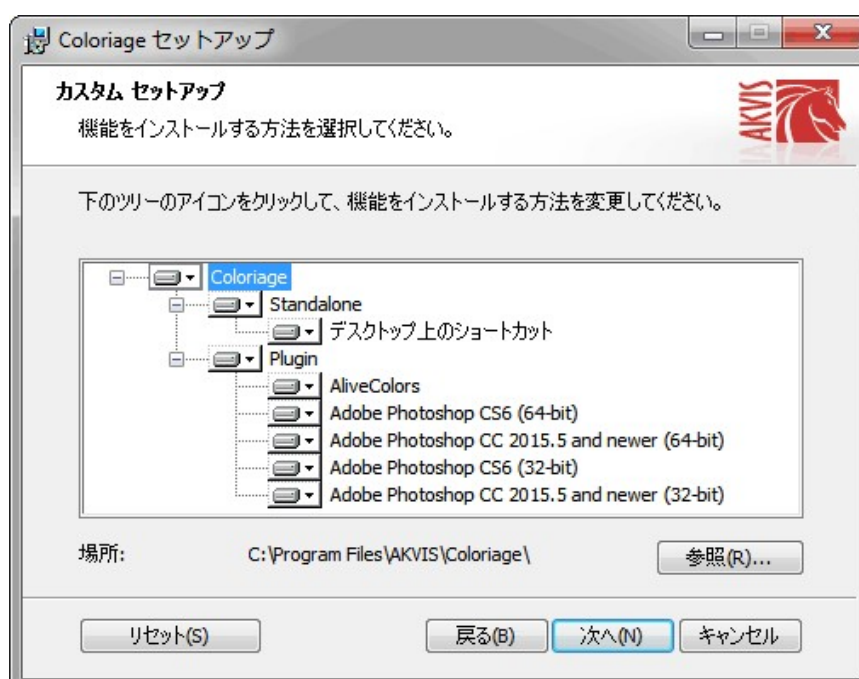
[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。



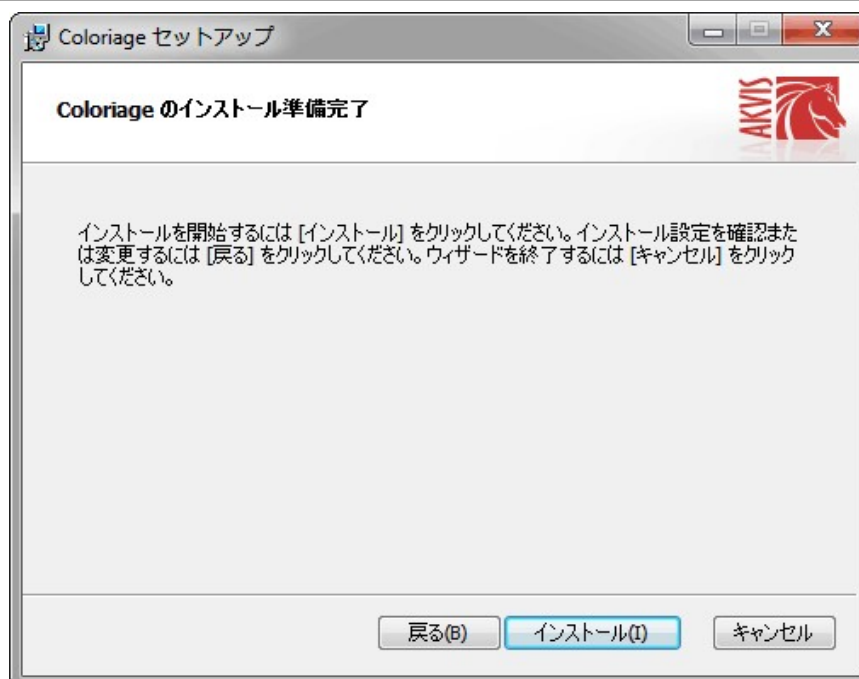
4. プラグイン版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

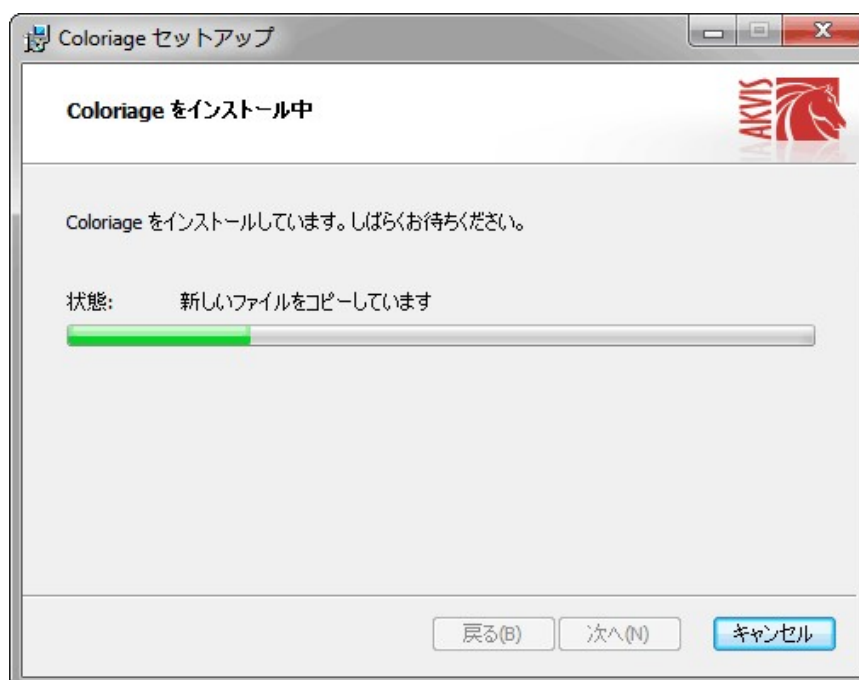
[次へ]をクリックします。



5. [インストール]ボタンをクリックします。

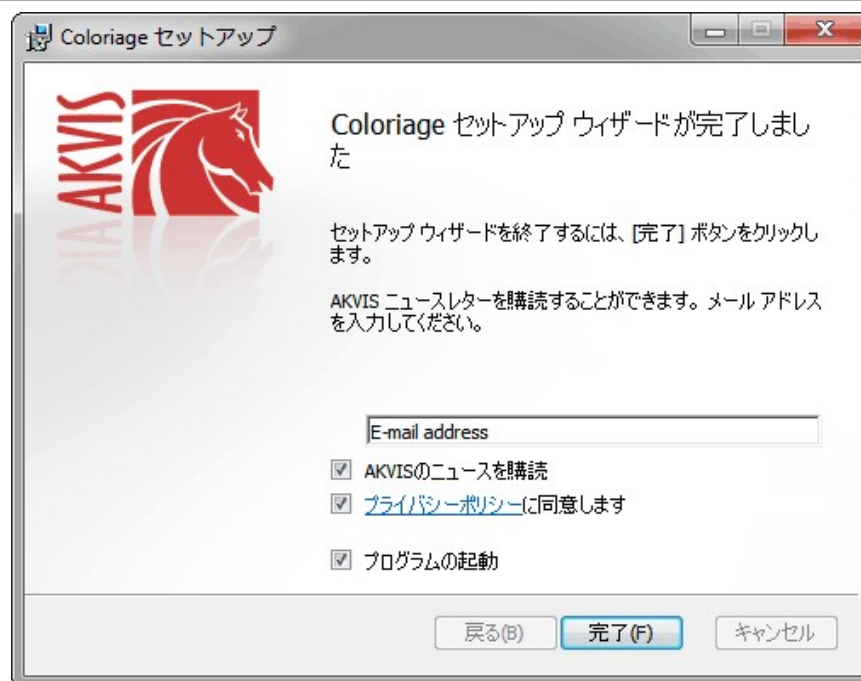


6. インストール処理が開始されます。



7. これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引キャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



8. **【終了】**をクリックします。

スタンドアロン版をインストールすると、**【スタート】**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

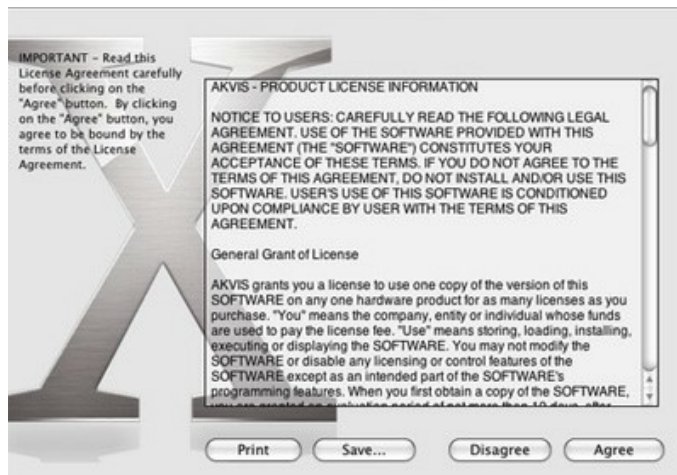
プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの**【フィルター】**または**【効果】**メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、**【フィルター】** > **【AKVIS】** > **【Coloriage】**となります。

MACでのインストール

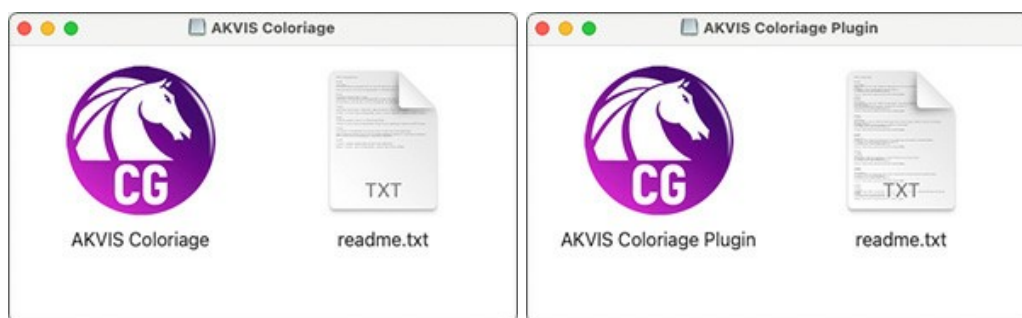
AKVIS Coloriage を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

1. **dmg** ファイルを開きます：
 - **akvis-coloriage-app.dmg** (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - **akvis-coloriage-plugin.dmg** (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
2. ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



3. **Finder** が開き、**AKVIS Coloriage App** または **AKVIS Coloriage PlugIn** フォルダが表示されます。



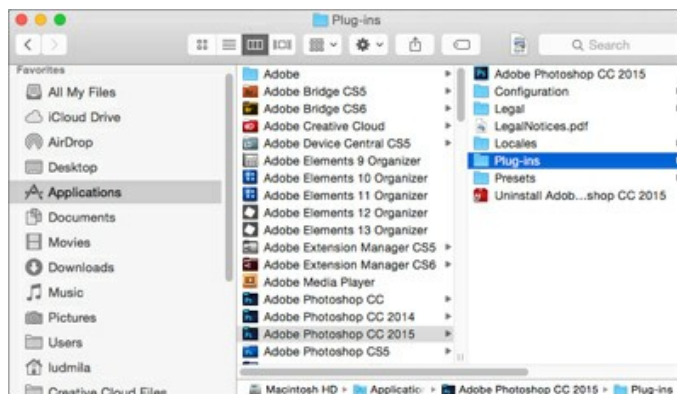
4. スタンドアロン版をインストールするには、**AKVIS Coloriage** アプリケーションを **[Applications]** フォルダ、または希望の保存先にドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、**[AKVIS Coloriage PlugIn]**フォルダを、グラフィック エディターの**[Plug-Ins]**フォルダにドラッグします。

Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、**Library / Application Support / Adobe / Plug-Ins / CC**

Photoshop CC 2015 の場合、**Applications / Adobe Photoshop CC 2015 / Plug-ins**

Photoshop CS6 の場合、**Applications / Adobe Photoshop CS6 / Plug-ins** に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] > [Coloriage]**が追加されます。

スタンドアロン版は、**Finder** のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、**Photos** アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

INSTALLATION ON LINUX

Follow the instructions to install the AKVIS software on a Linux computer. We took **AKVIS Coloriage** as an example. Other AKVIS programs are installed in the same manner.

You can use only the standalone applications by AKVIS on computers with Linux OS. We are working on the plugins compatibility.

Note: The AKVIS programs are compatible with **Linux kernel 5.0+ 64-bit**. You can find out the kernel version using the **uname -srm** command.

Installation on **Debian**-based systems:

Note: You need apt-install or apt-get permissions required to install software.

1. Run the terminal.
2. Create a directory to store keys:
sudo mkdir -p /usr/share/keyrings
3. Download the key that signed the repository:
curl -fsSL https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null
or **wget -O - https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null**
4. Add the repository to the list where the system looks for packages to install:
echo 'deb [arch=i386 signed-by=/usr/share/keyrings/akvis.gpg] https://akvis-deb.sfo2.cdn.digitaloceanspaces.com akvis non-free' | sudo tee /etc/apt/sources.list.d/akvis.list
5. Update the list of known packages:
sudo apt-get update
6. Install AKVIS Coloriage
sudo apt-get install akvis-coloriage
7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates, use the command:
sudo apt-get upgrade

To remove the program:

sudo apt-get remove akvis-coloriage --autoremove

Installation on **RPM**-based systems (**CentOS, RHEL, Fedora**):

1. Run the terminal.
2. Register the key that signed the repository:
sudo rpm --import https://akvis.com/akvis.asc
3. Add the repository to the system:
sudo wget -O /etc/yum.repos.d/akvis.repo https://akvis.com/akvis.repo
4. Update the package list:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf update

when using the **yum** package manager:
sudo yum update

5. Install AKVIS Coloriage:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf install akvis-coloriage

when using the **yum** package manager:
sudo yum install akvis-coloriage

6. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

7. For automatic updates:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf upgrade

when using the **yum** package manager:
sudo yum upgrade

8. To remove the program:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf remove akvis-coloriage

when using the **yum** package manager:
sudo yum remove akvis-coloriage

Installation on **openSUSE**.

1. Run the terminal.
2. Login as a root user.
3. Add the key that signed the repository:
rpm --import http://akvis.com/akvis.asc
4. Add the repository to the system:
zypper ar -r https://akvis.com/akvis.repo akvis
5. Update the package list:
zypper ref
6. Install AKVIS Coloriage:
zypper install akvis-coloriage
7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates:
zypper update

To remove the program:
zypper remove akvis-coloriage

In order to display the program interface correctly, it is recommended to install the Compton or Picom composite manager.

AKVIS製品のアクティベーション方法

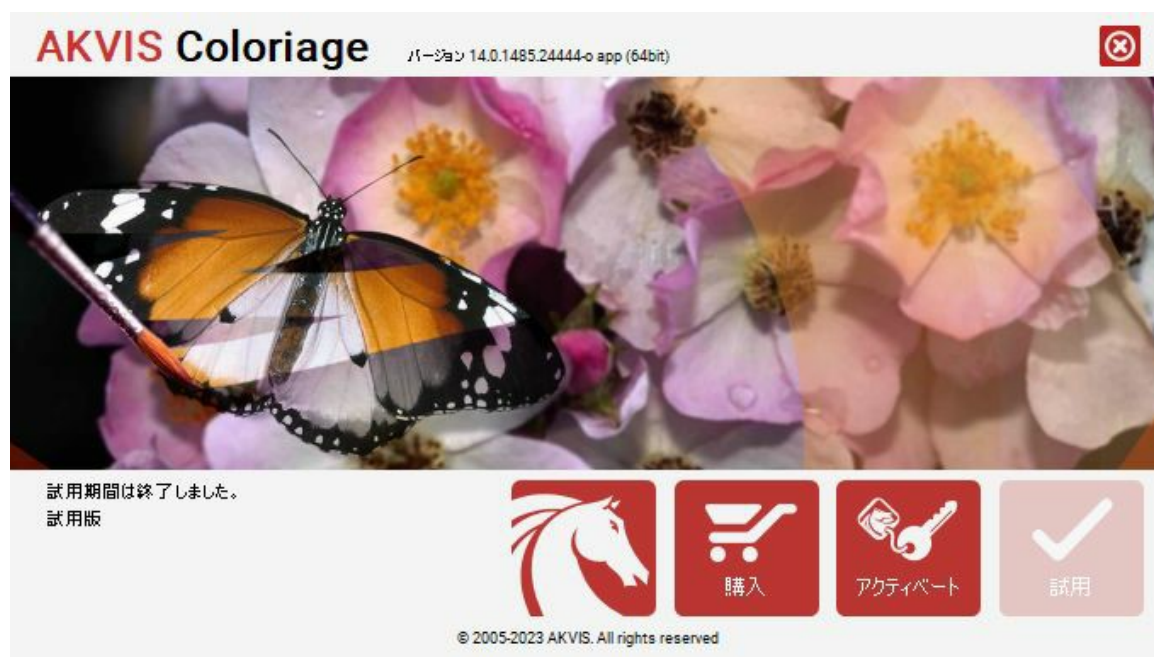
注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照)。

AKVIS Coloriage をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。インストール方法の詳細は[こちら](#)。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の  ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**[試用]**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。**Home**(プラグイン/スタンドアロン)、**Home Deluxe** または**Business**から選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

試用期間が終了している場合、**[試用]** ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、**[アクティベート]**をクリックします。

AKVIS Coloriage

バージョン 14.0.1485.24444-o app (64bit)

アクティベーション

お客様名: John Smith

シリアル番号: 1234-5678-9012

☒ アクティベーション サーバーへの直接接続

☐ 電子メールでリクエストを送信

シリアル番号を忘れた場合、[こちらからリストア](#)できます。

アクティベーションで問題が生じた場合、[お問い合わせ](#)ください。

HWIDをコピーします。

© 2005-2023 AKVIS. All rights reserved

お客様名を入力します（プログラムはこの名前で登録されます）。

シリアル番号（アクティベーション キー）を入力します。

アクティベーション方法（アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール）を指定します。

アクティベーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です！

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、**オフライン アクティベーション**でも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先:activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください！テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(**Coloriage.lic**) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この **.lic** ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの **[AKVIS]**フォルダー（[ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]）です。

◦ Windows の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

◦ Mac の場合:

Users/Shared/AKVIS

◦ Linux の場合:

/var/lib/AKVIS

これでアクティベーションは完了です！

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、**Home** から **Home Deluxe** または **Business** へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS Coloriage は、独立したスタンドアロン プログラムとして、また、ご使用のフォトエディターのプラグインとしても機能します。

- スタンドアロンは独立したプログラムです。通常通りの方法で起動できます。
- プラグイン版は、**イメージエディター**のアドオンとして動作します。プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

AKVIS Coloriage のウィンドウは、次のような構成です。



AKVIS Coloriage のワークスペースの大部分は**イメージ ウィンドウ**で、[処理前]と[処理後]の 2つのタブで構成されています。[処理前]タブには、元の画像が表示されます。このタブで、ペン ツールを使用してオブジェクトの色を定義します。[処理後]タブには、処理後の画像が表示されます。

ウィンドウ上部には、以下のボタンを含む**コントロール パネル**があります。

- : **AKVIS Coloriage** のホームページに移動します。
- : イメージを開きます (スタンドアロン版のみ)。このコマンドに対するホットキーは、**Ctrl + O**キー、Mac の場合 **⌘ + O**キーを使用します。
- : 処理したイメージをディスクに保存します (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + S**キー、Mac の場合 **⌘ + S**キーを使用します。
- : イメージを印刷します (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + P**キー、Mac の場合 **⌘ + P**キーを使用します。
- : 拡張子が **.strokes** のファイルを開きます。この種類のファイルには、イメージに描いたストロークが保存されています。
- : イメージに描いたカラーストロークを拡張子が **.strokes** のファイルに保存します。たとえば、すべてのオブジェクトにストロークを描き終わる前に、作業を中断しなければならないなど、後で写真を編集したいときに使用します。
- : 最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。このコマンドに対するホットキーは、**Ctrl + Z**キー、Mac の場合 **⌘ + Z**キーを使用します。
- : 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。このコマンドに対するホットキーは、**Ctrl + Y**キー、Mac の場合 **⌘ + Y**キーを使用します。
- : ストロークの表示方法を切り替えます。
- : 通常モードが有効であることを示します。選択した色のストロークすべてが表示されます。例えば、同じ色の異なるトーンのストロークもすべて同じように表示されます。
- : **明るさプレビュー** モードが有効であることを示します。このモードでは、元の画像のピクセルの明るさと指定された明るさの範囲を考慮して、ストロークが表示されます。
- : ストロークが隠されていることを示します。
- をクリックして、色付け処理を開始します。色付け処理を開始するためのショートカット キーは **Ctrl + R**キー、Mac の場合 **⌘ + R**キーを使用します。処理後の画像が[処理後]タブに表示されます。
- : 色付けの結果を適用します (プラグイン版のみ)。このボタンをクリックすると、イメージに変更内容が適用され、**AKVIS Coloriage** ウィンドウが閉じられます。
- : バージョン情報を表示します。

-  : このプログラムのヘルプファイルを開きます。
-  : プログラムのオプション設定を変更するための**【環境設定】**ダイアログボックスを開きます。
-  : Coloriage に関する最新のニュースを別ウィンドウで表示します。

イメージウィンドウの左側にある**ツールバー**には、ストロークの描画や編集に使用するツールや色付けしたイメージの調整に使用するツールが含まれています。

イメージウィンドウ内を右クリックした際に、ツールの設定が別ウィンドウに表示されます。表示されたオプションウィンドウ以外をクリックすると、ウィンドウが非表示になります。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには **ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**には、イメージの縮小版が表示されます。赤枠で囲まれた領域は、現在**イメージウィンドウ**に表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージウィンドウに表示されません。表示されていない部分を表示するには、赤枠をドラッグします。赤枠を動かすには、**ナビゲーター**の赤枠の内側にカーソルを置き、目的の位置までドラッグするだけです。



ナビゲーター

スライダーを使用して、**イメージウィンドウ**内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。

イメージウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースキーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、**Ctrl**キー (Mac の場合は、**⌘**キー) を押しながらの場合は左右に動き、**Alt**キー (Mac の場合は、**Option**キー) を押しながらの場合は拡大/縮小を行います。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーションメニューが表示されます。

さらに、拡大/縮小率の欄に値を入力して**Enter**キー (Mac の場合は**Return**キー) を押すこともできます。ドロップダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。**+**または**Ctrl++**キー (Mac の場合は**⌘++**キー) で拡大、**-**または**Ctrl+-**キー (Mac の場合は**⌘+-**キー) で縮小します。

ナビゲーターの下にある設定パネルには、**【色選択】**タブと**【事前処理】**タブがあります。

- **【色選択】**タブは、色を操作する際に使用します。利用できる選択肢は、**色ライブラリ**、**サンプル画像**、**色の履歴**、そして **【カラー】**、**【スウォッチ】**、**【マルチカラー】**パレットです。
- **【事前処理】**タブには、画像処理の準備段階に使用するパラメーターも用意されています。

プログラムの使用

AKVIS Coloriage での色付け作業は、簡単で楽しく、自然な仕上がりを実現できます。AKVIS Coloriage を使用すると、昔の白黒写真をカラー写真として蘇らせるなど、イメージの色を自由に操ることができます。AKVIS Coloriage は、独立したスタンドアロン プログラムとしても、また、ご使用のフォトエディターのプラグインとしても機能します。

ここでは、**AKVIS Coloriage** プラグインを使用して、写真に色付けする方法を説明します。

ステップ 1: イメージを開きます。

- スタンドアロン版で作業する場合：

画像を読み込むには、新規ウィンドウ内をダブルクリックして、プログラムのワークスペースに画像をドラッグするか、 を使用します。このプログラムは、**RAW、JPEG、PNG、BMP、TIFF、WEBP**ファイル フォーマットをサポートしています。

- プラグイン版で作業する場合：

グラフィックエディターでイメージを開きます。

イメージが**グレースケール** モードの場合、**RGB** に切り替えます。**AliveColors** の場合であれば、[イメージ] > [モード] > [RGB]を選択して、変更します。

AKVIS Coloriage のプラグインは、[フィルター]または[効果]メニューから呼び出します。

AliveColors の場合、[効果] > [AKVIS] > [Coloriage]、
Adobe Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS] > [Coloriage]、
Corel PaintShop Pro の場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Coloriage]、
Corel Photo-Paint の場合、[効果] > [AKVIS] > [Coloriage]となります。

ヒント: フォトエディターでの選択範囲は、**色維持ペン** ツール  を使って描画した輪郭線としてプラグインに転送されます。

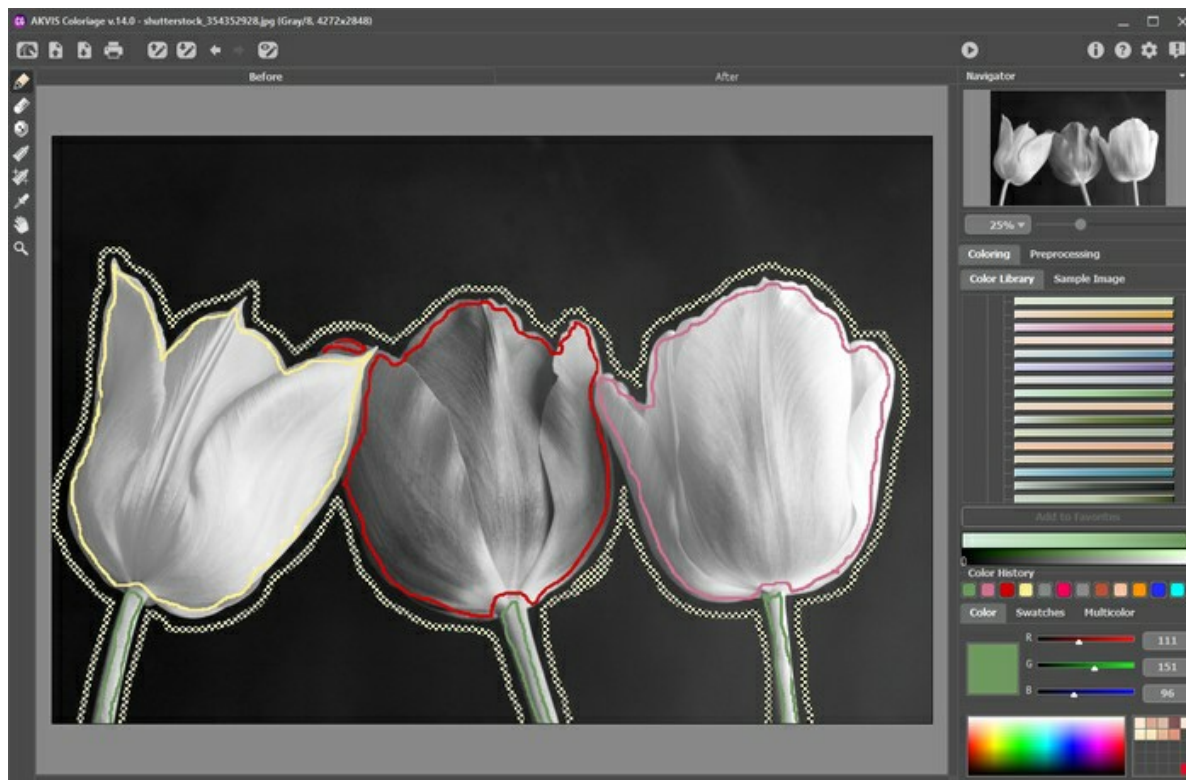


ステップ 2: 必要な場合には、**[事前処理]**タブで、イメージの明るさやコントラストを調整することができます。

ステップ 3: **[色選択]**タブで、色付けしたいオブジェクトの色を選択します。

AKVIS Coloriage では、色を選択する方法がいくつかあります。**[色ライブラリ]**、**[カラー]**、**[スウォッチ]**、**[マルチカラー]**/パレット、**[色の選択]**ダイアログから選択する方法と、**[スポイト]**ツール  を使用して か**[サンプル画像]**から選択する方法があります。

ステップ 4: [処理前]タブから事前処理 (色の選択) ツール 、、、、を使用して、それぞれの色の範囲を指定していきます。オブジェクトに色を指定していない場合、近接するオブジェクトの色で塗りつぶされます。



ステップ 5: をクリックして、色付け処理を開始します。色付けされた画像が[処理後]タブに表示されます。

描画線の一部を取り消す、新しい描画線を追加する、オブジェクトの色を変更するなど、色付けの結果を編集したいときは、[処理前]タブに戻って、必要な作業を行います。 を再度クリックします。

ステップ 6:結果を **パリエーション** セクションに追加するには、ツールバーの をクリックします。結果を切り替えて、色付けの様々なバージョンを比較することができます。

一覧から画像を削除する場合は、 をクリックします。

注意:この機能は、*Home Deluxe* と *Business*版でのみ利用できます。



色付けのパリエーション

ヒント:プログラムに新しいイメージを読み込むと、このセクションのすべてのショットが削除されます。気に入りの結果は、新しい名前を付けて保存します。

パリエーションの表示/非表示の切り替えは、プログラムの環境設定 で行えます。

ステップ 7:最後の手順として、**後処理ツール**を使用し、処理後の画像をさらに手動に編集することができます。使用できる後処理ツールとして、**再カラー** **ブラシ** 、**調整ブラシ** 、**履歴ブラシ** が[処理後]タブに用意されています。

注意:これらのブラシは、最終処理段階で使用します。新しい効果設定で処理を再実行 した場合や、**パリエーション**内の画像間で切り替えを行った場合は、ブラシ ツールを使用した編集が失われる場合があります！

ステップ 8:カラー ストロークを **.strokes** ファイルとして保存する場合は、 をクリックします。

後でストロークを使用する場合は、 をクリックします。

充電不足などの理由により急に PC の電源が落ちた場合などに備え、 ボタンを押すたびに **coloriage-autosave.strokes** というファイルに自動的にストロークが保存されます。

ステップ 9:スタンドアロン版では、 ボタンを使用して、**印刷**することもできます。

ステップ 10:処理したイメージを保存します。

スタンドアロン版で作業する場合:



をクリックすると、[名前をつけて保存]ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類

(TIFF、BMP、JPEG、PNG、WEBP) を選択し、保存先フォルダーを選択します。

- プラグイン版で作業する場合：

✓ をクリックして色付け結果を適用し、プラグイン ウィンドウを閉じます。**AKVIS Coloriage** プラグインが終了し、色付けた画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して[名前を付けて保存]ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。



結果

色付け: 色選択する方法

AKVIS Coloriageでは、**[色選択]**タブ 内に色を選択する方法がいくつかあります。**[カラー]**、**[スウォッチ]**パレット、**[色ライブラリ]**から選択する方法と、**[スポイト]**ツールを使用して、元の画像、もしくは**[サンプル画像]**から 直接選択する方法があります。

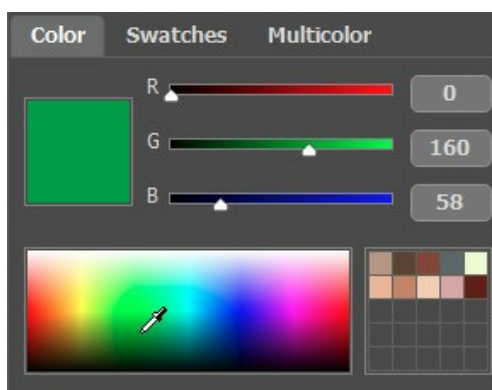
注意: 彩度が低めの色を選択したほうが、自然な仕上がりになります。

[色の履歴]パレットには、最後に使用した色が保存されます。一度使用した色は履歴に表示されるため、最近使用した色合いをすぐにまた利用できます。



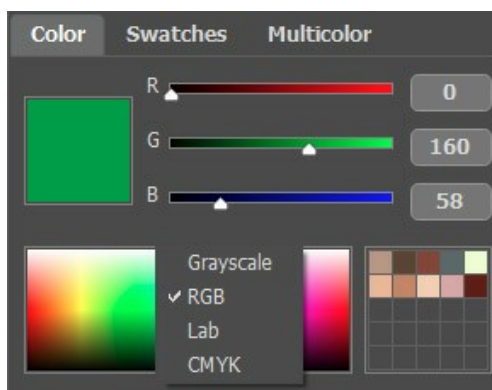
[カラー]パレット

このパレットで作業をする場合、色はスペクトラム（色のグラデーション）から選択します。カーソルがスポイトの形に変わります。新しい色を設定するには、スペクトラム（色のグラデーション）内をクリックするだけです。現在の色が、カラーボックス（大きな四角）内に表示されます。カラーボックスをダブルクリックすると、標準的な**[色の選択]**ダイアログボックスが表示されます。



スライダーを調整したり、入力フィールドに色の数値を入力することで、新しい色のトーンを作成したり、全く新しい色を作成することができます。

カラーボックスを右クリックした場合、選択可能なカラーモードメニュー（グレースケール、RGB、CMYK、Lab）が表示されます。



[カラー]パレットの上部には、選択した色の明るさを基準にしたグラデーションが示されます。

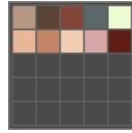
グラデーション ラインの下では、現在の色の明るさを調整できます。初期設定では、明るさ範囲はその色に合わせた設定になっています。つまり、画像上の黒のピクセルは選択した色の最も暗い色合いに該当し、白のピクセルは選択した色の最も明るい色合いに該当します。



明るさ領域を変更するには、下部のグラデーション パネル上で黒または白、あるいはその両方のマーカーを移動します。つまり、オブジェクトの最も暗い、または明るい色合いを変更することができます。白のマーカーに暗い色合いを設定した場合、明るいオブジェクトを暗い色で色付けできます。一方、黒のマーカーに明るい色合いを設定した場合、暗いオブジェクトを明るい色で色付けできます。なお、明るさ領域を2回以上下げることはできません。



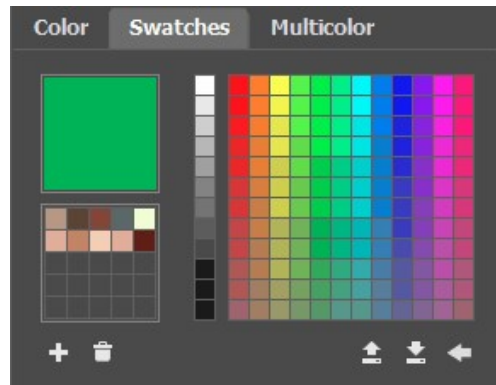
よく使用する色やお気に入りの色を、特別なミニパレットに保存することができます。



色を追加するには、該当する色をクリックしながらドラッグします。カラーボックスの色を保存領域内の別の色に変更する場合は、変更する色の四角を左クリックします。保存領域内から色を削除する場合は、右クリックします。

[スウォッチ]パレット

[スウォッチ]パレットには、頻繁に使用する色が保存されています。保存した色を選択するには、そのセルをクリックだけです。[カラー]パレットの場合と同様、選択した色は右側のカラーボックス（四角）に表示されます。



パレットの下部には、以下の機能を持つボタンが配置されています。

[スウォッチの追加]ボタン  は、選択中の色をスウォッチに追加します。

色を削除する場合は、削除する色を  にドラッグするか、右クリックメニューの[スウォッチの削除]を選択します。

[ファイルに保存]ボタン  は、スウォッチを保存するためのダイアログを開きます（ファイルは **.swatches** 拡張子で保存）。

[ファイルから読み込む]ボタン  は、保存したスウォッチのコレクションを読み込み、使える状態にします。

[デフォルトに戻す]ボタン  は、スウォッチのコレクションをデフォルトの設定に戻します。

色ライブラリ

[色ライブラリ]には、肌、髪、唇、草、木、石など、正確に表すことが難しい色があらかじめ用意されています。 [色ライブラリ]の色はすべて、オブジェクト別にグループ分けされています。[色ライブラリ]から色を選択するには、以下の手順を実行します。

ツリーを左クリックし、色グループを選択します。グループに含まれるすべての色は、グラデーションで示されます。

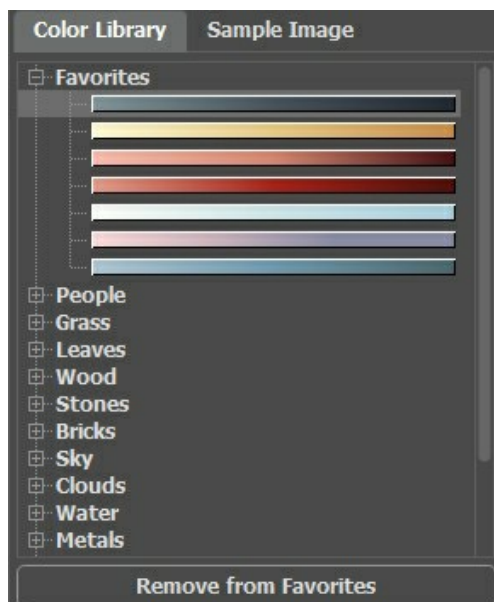
目的の色をクリックして選択します。選択した色が、[色ライブラリ]の下の上部のグラデーション パレットに表示されます。マーカーは、色を選択したときにクリックした位置を示しています。



上部のグラデーション パレットで目的の色をクリックして選択します。マーカーの位置が固定され、選択した色の影が、その明るさに応じて、下部のグラデーション パレットに表示されます。



グラデーションを別のグループに保存する場合、そのグラデーション選択時に[お気に入り]に追加]ボタンをクリックします。グラデーションをお気に入りグループから削除する場合は、該当するグラデーション選択時に[お気に入りから削除]ボタンをクリックします。

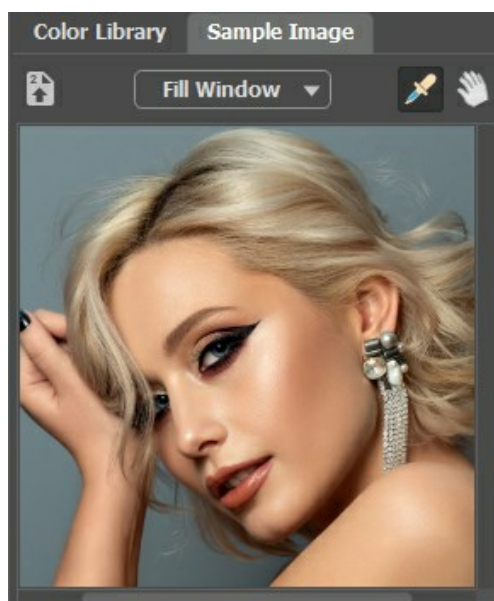


[サンプル画像]

このタブでは、スポイト ツール  を使用して他の画像から色を選択することができます。作動中のツール（例えば鉛筆ツール ）が自動的に選択した色で描き出します。

画像を読み込むには、 を使用するか、タブの空き領域でダブルクリックするか、タブにイメージをドラッグします。 ボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。

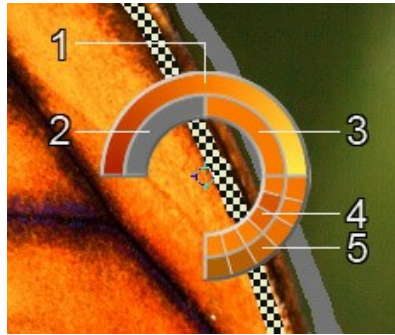
サンプル画像を拡大もしくは縮小するには、ドロップダウン リストを使用します。



スポイト ツール

イメージ内から直接色を選択することもできます。その場合、スポイト  ツールを有効にして、抽出する色が含まれる領域をクリックします。

スポイト ツールを有効にしてイメージ内をクリックすると、その部分の色に関する情報を 5つに分割された **色リング** が表示されます。



1.グラデーションになっているこの部分は、中央部分が選択した領域の色、その左側に 30% 黒を加えた色、右側に 30% 白を加えた色が表示されています。

2.今現在選択している色を示しています。

3.カーソルがある地点の色のピクセルを示しています。

4.周囲のピクセルの色を示しています。

5.選択地点の周囲を平均した色（時計回りに 3x3、5x5、11x11、31x31、51x51、101x101ピクセル四方）を示しています。

ヒント:色リングを使用することで、より厳密に色を選択できるようになります。希望の色と少し違う色を指定してしまった場合、**Ctrl** キーを使用します。

色を設定するまで処理を繰り返します。**彩度が低めの色を選択したほうがより自然な仕上がりになります。**

事前処理

【事前処理】タブには、色付けをする前に元の画像を向上するのに役立つ処理準備段階のためのパラメーターが用意されています。カラー写真をグレースケールに変換し、明るさとコントラストを調整することができます。

【グレースケール】チェックボックス: チェックボックスをオンにすると、元の画像が白黒になります。

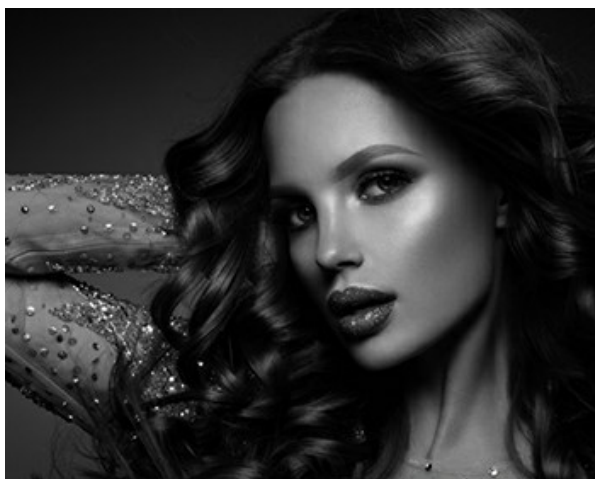


カラー画像(チェックボックスがオフ)



白黒画像(チェックボックスがオン)

明るさ: 画像の輝きの強さを調整します。パラメーターの値を上げるとピクセルが明るく、値を下げると暗くなります。

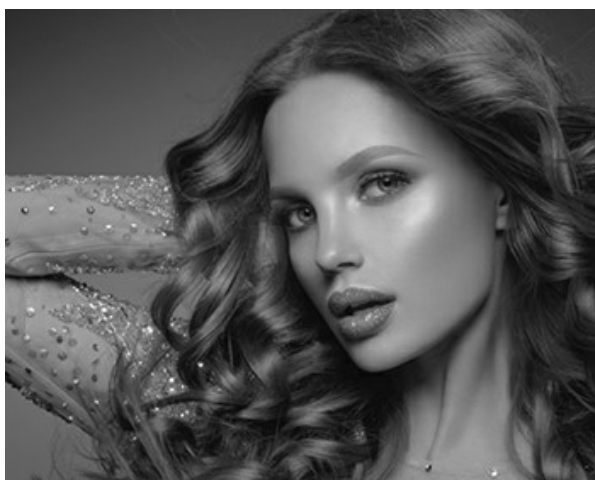


明るさ = -50



明るさ = 50

コントラスト: パラメーターの値を上げると、画像内の明暗の違いを強めます。



コントラスト = -50



コントラスト = 50

ツールとオプション

AKVIS Coloriage のツールバーは、**[処理前]**タブと**[処理後]**タブを切り替えたときに、表示が変わります。



[処理前]タブ選択時のツールバー



[処理後]タブ選択時のツールバー

ツールは、**事前処理**、**後処理**、**追加**（補足）ツールという3つのグループに分けられています。イメージ内を右クリックすると、ツールのオプションが表示されます。

ヒント:

← と → のボタンを使用して、、、、、、、、 を使った操作のやり直し/取り消しを行なうことができます。

事前処理ツール ([処理前]タブ):

色を変更する範囲や変更する色を指定したり、変更しない領域を指定したりできます。

ペン ツール : このツールを使用して、色のストロークを描画することにより、そのオブジェクトに描画した色が適用されます。

ツールの直径を指定し、指定した色を適用する部分の輪郭を描画します。オブジェクトに複数の色が使用されている場合、それぞれの領域に、それぞれの色で輪郭を描画する必要があります。



オブジェクトのサイズが大きい場合や、境界がわかりやすい場合（明暗がはっきりしている場合など）は、オブジェクトの内部を数回描画します。

オブジェクトの内部に別の色で塗りつぶす必要のある箇所がある場合は、そのオブジェクトで使用しているメインの色で輪郭をとります。たとえば、唇、目、コートのボタンなどは、その輪郭をとる必要があります。

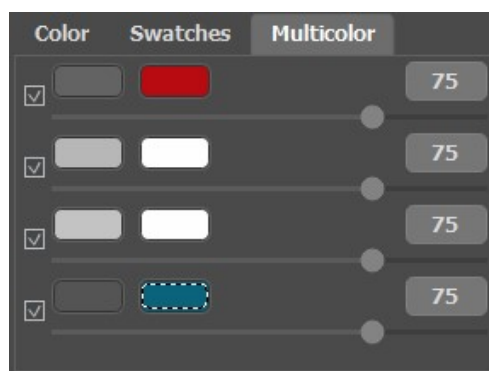


ヒント: 色の遷移を滑らかにする場合、ストロークは下のようにくっつけず離れた状態で描画します。離れている部分が長いほど、遷移は滑らかになり、色は徐々に変化します。逆に、色がくっきり異なる部分は、色の境界部分をしっかりと囲う必要があります。これは、目や口の周りを肌の色でしっかり囲うことで、それぞれの部分の色が混じることなく区別できます。



Home Deluxe と Businessライセンスのみで利用可能な鉛筆ツールの[マルチカラー モード]を使うと、一度に幾つかの色を同時に描画できます。このモードは、複雑な模様があり、境界がはっきりしている場合に非常に便利です。ありがたいことに、時間の節約にもなります。

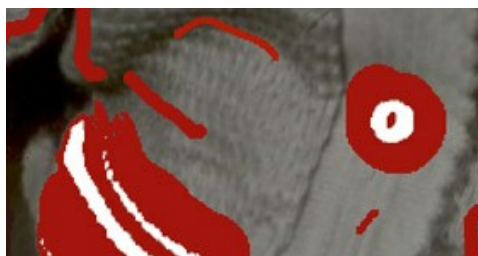
[マルチカラー モード]は、ペン ツールのオプションとして選択できます。有効にすると、**設定パネル**は[マルチカラー]パレットに自動的に切り替ります。



使用するカラーは、カラーパレットに追加することで利用できます。左側のカラーパレットは変更する前の元の色、右側のカラーパレットは変更後の色を表します。カラーパレットのカラーの設定は、以下のいずれかの方法で行うことができます。

- イメージ内から直接選択 (カラーパレットをクリックすると、**スポイト ツール**が有効になり、イメージ内からスポイトを使って色を選択できます。
- 一般的な**【色の選択】**ダイアログを使用して選択: カラーパレットをダブルクリックして表示されるダイアログから選択できます。
- **【色ライブラリ】**を使用して選択: 肌、髪、唇、草、木、石など、正確に表すことが難しい色があらかじめ用意されているものから選択できます。

それぞれの色の組み合わせの**【感度】**を調整できます。[感度]の値が高いと、**ストローク描画時**により多くの色をソース画像から取得します。



それぞれの色の組み合わせの感度
濃いグレーと赤 = 75
薄いグレーと白 = 75



それぞれの色の組み合わせの感度
濃いグレーと赤 = 30
薄いグレーと白 = 90

色維持ペン ツール  : 色付けを行わない (色を変更しない) 領域を指定するために使用します。

カラー画像の[特定のオブジェクトの色だけを変更する](#)場合は、ペン ツールを使ってオブジェクトの色を設定した後に、[色維持ペン ツール](#)  を使って、オブジェクトの外側り、閉じた輪郭を描画します。



色維持ペン ツールを使用した場合



色維持ペン ツールを使用しない場合



チューブ ツール  : 描画したストロークの色と明るさを一気に変更したい場合、このツールを使用します。

マジックチューブ ツール  : 選択している色のすべてのストロークに対して、色と明るさを一気に変更することができます。

描画したストロークの色を変更するには、新しい色を選択した後、ツールバーから**チューブ ツール**  を選択して、変更するストロークをクリックします。
同じ色のストロークが何か所かに使用されている場合、**マジックチューブ ツール**  を選択して、対象のストロークのいずれか1つをクリックすると、すべてが変更されます。



色を赤から青に変更

処理結果の明るさも変更できます。そのためには、**選択した色の明るさ範囲を変更する**必要があります。忘れてはいけない点として、明るさ範囲の縮小（圧縮）すると、画像の詳細や深みが損なわれてしまいます。

描画線の明るさ範囲を変更するには、目的の明るさ範囲を選択して、**チューブ ツール**  を使って、ストロークをクリックします。同じ色および明るさを持つストロークの色を変更するには、**マジックチューブツール**  でストロークのいずれかをクリックします。明るさ範囲に関係なく色が同じである、すべてのストロークの色を変更するには、**Ctrl**キー（Mac の場合は、**⌘**キー）を使用して拡大/縮小率を変更できます。

通常プレビュー モード では、選択した色のストロークすべてが、設定されている明るさに関わりなく表示されます。例えば、同じ色の異なるトーンのストロークもすべて同じように表示されます。**明るさプレビュー モード**  では、変換後のイメージでの実際の明るさに応じたストロークが表示されます。



通常プレビュー



明るさ: プレビュー

消しゴム  : このツールを使用し、描画したストロークを削除します。

後処理ツール（[処理後]タブのみで利用可能）

再カラー ブラシ  : 色付けしたイメージの色を変更することができます。

ツールのパラメーター

直径（設定可能範囲は 1-500）：ブラシの幅をピクセルで設定します。

硬さ（設定可能範囲は 0-100）：ブラシのエッジ部分の鮮明度を調整します。パラメーターの値が大きいほど、ブラシのエッジ部分は鮮明になります。値が 100% の場合、ブラシはペン（鉛筆）で描いた場合のように鮮明になり、低い値ではエッジ部分にぼかしがかかります。

強度（設定可能範囲は 0-100）：ストロークの強さを設定します。パラメーターの値が大きいほど、ストロークに適用される色が強くなります。

【明るさを維持】チェックボックス: チェックボックスがオンの場合、描画したストロークの明るさは、背景および画像全体の明るさにより変化します（ストロークの明るさは、画像の明るさ、暗さに適合します）。このチェックボックスがオフの場合、ストロークの明るさは画像の明るさに依存しなくなります。



ツール使用前



再カラー ブラシ適用結果

調整ブラシ  (**Home Deluxe と Business** ライセンスのみ): 自然な方法で初期結果の色を調整することができます。影やハーフトーンを追加したり、しわやたるみを伸ばしたり、不要な要素を除去したりできます。

ツールのパラメーター:

直径 (設定可能範囲は 1-200): ブラシのブラシの太さ (直径) を指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ブラシのエッジ外側の鮮明度を調整します。パラメーターの値が大きいほど、エッジは鮮明になります。

強度 (設定可能範囲は 0-100): ツールを適用する強度を指定します。

スムージングの範囲 (設定可能範囲は 0.1-10.0): 値が低い場合、大きな要素を取り除きます。値が大きい場合、小さな要素を取り除き、大きなものはそのまま残ります。

サンプル (設定可能範囲は 0-100): 値が 0 の場合、ストローク描画開始点の色 (元の色) が使用されます。値が高いほど、元の色は薄く、パレットで選択した色が鮮明になります。値が 100 の場合は、元の色は全く使用されません。

色混合 (設定可能範囲が 0-100): 指定した色との混じり度合いを指定します。



ツール使用前



調整ブラシ適用結果

履歴ブラシ : 元のイメージの状態に戻します。

ツールのパラメーター:

直径 (設定可能範囲は 1-500): ブラシで引くラインの幅を指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ツールのエッジ部分の鮮明度を調整します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしかかったものになります。値が 100% の場合、ブラシのエッジと背景の境界がくっきり分かりますが、もっと低い値の場合は境界部分の色の移行がよりスムーズになり、ぼかしが強くなります。

強度 (設定可能範囲は 1-100): オリジナルの状態へのレストア度合いを指定します。低い値の場合はレストアがあまり行われず、適用した効果と馴染みますが、100% に近い値の場合はオリジナルの画像に完全にレストアされます。

【元のイメージにレストア】チェックボックス: チェックボックスが有効な場合、元のイメージの状態にレストアされます。無効な場合は、自動処理結果の

状態にリストアされます。



ツール使用前



履歴ブラシ適用結果

追加ツール (両方のタブで利用可能):

スポイトツール  : イメージ内から色を抽出できます。

手のひらツール  : 画像を動かしてイメージ ウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。この操作に対するホットキーは、**H** キーです。
ツールバー上にあるツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージはウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

ズーム ツール  : 画像の拡大/縮小を行うことができます。クリックすると、ズームイン (拡大) します。クリックしながら **Alt** キーも押すと、ズームアウトします。この操作に対するホットキーは、**Z** キーです。
ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが 100% の倍率 (実際の大きさ) で表示されます。

色付けのヒント

以下に紹介する色付けのヒントを活用して、写真の色付けのコツをつかみ、プロのような作品を作ることができるでしょう。これらのヒントは、白黒写真に色を追加、カラー写真の色の変更、AKVIS Coloriageでの作業の最適化等の方法を身につける助けになるでしょう。

- 色を選択する時、処理後の最終結果は、元の色の明るさにより大きく変わるということを考慮に入れて選択してください。

自動調整で満足した色が得られなかった場合、独自に色を明るくしたり暗くしたりすることができます。この場合、選択した色の明るさ範囲を変更する必要があります。ただし、明るさ範囲を縮小すると(特に、極端に縮小した場合)、画像のディテールや深みが損なわれますので注意してください。

- 自然な色付けを行うには、元のイメージである白黒写真に彩度が低めの色を選択することです。

- 色の遷移を滑らかにしたい場合(空や緑草などに複数の色を割り当てる場合)は、それぞれのストロークを離して描画します。色の遷移をはっきりさせたい場合(目や唇などに色を割り当てる場合)は、それぞれのストロークを近づけて描画します。

- ストロークを削除する場合、消しゴムツール  を使用します。消しゴム ツールのホットキーは、**E** キーです。

ストローク全体を削除するには、**Alt** キー (Mac の場合は、**Option** キー) を押し長さ、ストロークをクリックします。
すべてのストロークを削除する場合は、**Alt + Ctrl** (Mac の場合は、**Option + ⌘**) キーを押しながら画像をクリックします。

- 描画されているストロークの色 (またはストロークの明るさ範囲) を変更する場合、別の色 (または明るさ範囲) を選び、**[チューブ]** ツール  を選択して、ストロークをクリックします。
同じ色で描画した複数のストロークの色を変更する場合は、**[マジックチューブ]**  をクリックし、対象ストロークの内の一本をクリックします (クリックしたストロークと同じ色のストロークがすべて変換されます)。
明るさ範囲は考慮せず、同じ色のすべてのストロークの色を変更するには、**[マジックチューブ]**  を、**Ctrl** キー (Mac の場合は、**⌘** キー) を押したまま使用します。

- 直線を描画するには、ペンツール  を有効にし、**Shift** キーを押しながら直線の開始点、終了点の順にクリックします。この方法であれば、多角形の輪郭を描画できます。

- 色が複雑な模様等の場合、色の境界部分がはっきりしていれば、マルチカラーツールを使うことができます。何本ものストロークを描画する代わりに、1本のストロークの描画だけで、画像内でポイントが指す部分の元の色に応じて、ストロークの色が自動的に変更されるため、時間の節約にもなります。

- 安全のため、描画したストロークの保存は、必ず別のファイルに行ってください。

すべてのオブジェクトに色を指定する前に作業を中断する場合や色付けした写真を後で編集する(色スキームの変更、ストロークの編集) 場合などには役立ちます。

ストロークを保存するには、 ボタンをクリックし、ストロークを読み込むには、 ボタンをクリックします。

作業途中のイメージを使用した色付け作業に関する操作例をご覧ください。

- ツールへのクイックアクセスには、次のホットキーを使えます。ペンツール  のホットキーは **B** キー、消しゴムツール  のホットキーは **E** キー、スポイトツール  のホットキーは **I** キー、チューブツール  のホットキーは **G** キーです。

- ペン 、色維持ペン 、消しゴム 、再カラー ブラシ 、調整ブラシ 、履歴ブラシ  の各ツールのブラシサイズを変更するには、ツールボタンを押した際に表示されるポップアップ ウィンドウを使用します。
ブラシのサイズを小さくするためのホットキーは **[** キー、大きくするためのホットキーは **]** キーです。

- イメージのサイズの拡大/縮小率を変更するには、ナビゲーターを使用します。**+** と **Ctrl + +** キー (Mac OS の場合は **⌘ + +**) で拡大します。**-** と **Ctrl + -** キー (Mac OS の場合は **⌘ + -**) で縮小します。

- 最後の操作をキャンセルする場合、**[元に戻す]** ボタン  または、ホットキーの **Ctrl + Z** (Mac の場合は、**⌘ + Z**) キーを使用します。

変更のレストアは、**【やり直し】**ボタン  を使います。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + Y** (Mac の場合は、**⌘ + Y**) キーを使用します。

ストロークの保存と読み込み:作業途中のイメージを使用

AKVIS Coloriageを使ってイメージの色付けを行う際、定期的に**.strokes** 拡張子のファイルに保存するようお勧めします。これにより、何かの理由で作業データが消えた場合などに、最初から作業する必要がなくなります。

色のストロークを保存するには、 をクリックして、フォルダーとファイル名を指定します。後でストロークを読み込みたい場合は、 をクリックして、続きから作業を続けることができます。

充電不足などの理由により急にPCの電源が落ちた場合などに備え、 ボタンを押すたびに**coloriage-autosave.strokes**というファイルに自動的にストロークが保存されます。

自動的に保存されたファイルの保存先は以下の通りです。

C:\Users\Public\Documents\AKVIS (Windows の場合)
HD/Users/Shared/AKVIS (Mac OS の場合)

ストロークの保存は、プログラムの使い方のヒント等を他のユーザーと共有する方法でもあります。

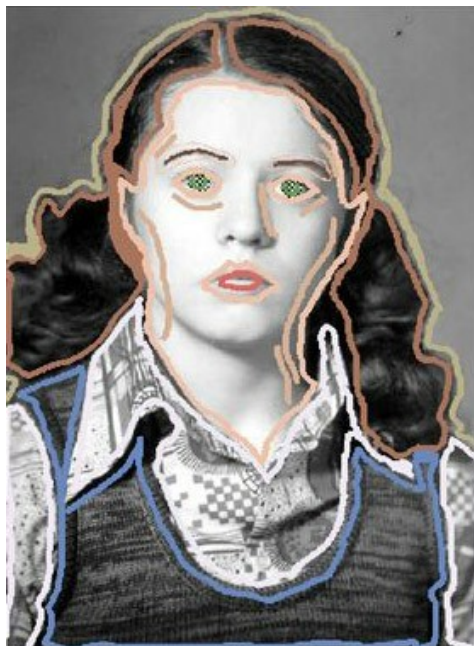
作業途中のイメージを使用した色付け作業の方法を紹介します。

ステップ 1:元のイメージと **.strokes** が保存されているアーカイブをダウンロード後解凍します。

ステップ 2:画像を開きます。



ステップ 3:  をクリックし、**.strokes** ファイルを選択して **【開く】**をクリックします。



ステップ 4:  をクリックすると、**【処理後】**タブに色付け結果のイメージが表示されます。



ステップ 5: 希望であれば、イメージの色を変更することもできます。そのためには、**【処理前】**タブに移動し、**【チューブ】**  または**【マジックチューブ】**  を使います。**【チューブ】**は、1つのストロークの色のみ変更しますが、**【マジックチューブ】**は特定の色で描かれているすべてのストロークの色を変更します。



 を再度クリックします。



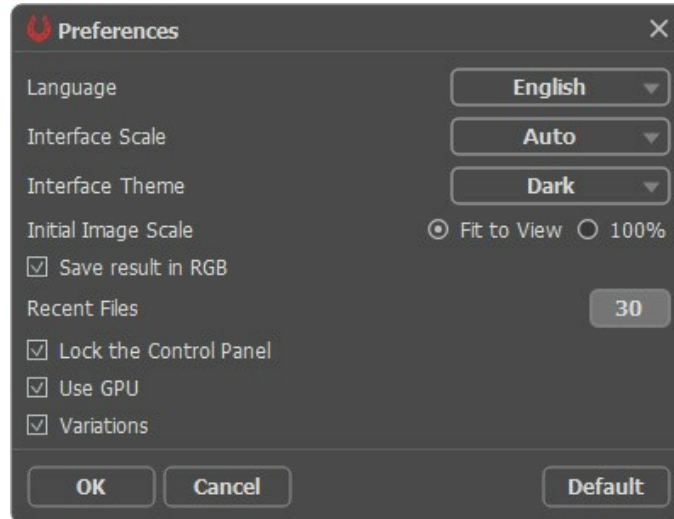
注意: アーカイブ内のストロークは、元のイメージの比率(幅 x 高さ)に対応しています。元のイメージの比率を変えた場合、ストロークはイメージに合わないこととなります。

以下のアーカイブをダウンロードして、簡単に画像を色付けできます。

[baby-photo.zip](#)、[boy-picture.zip](#)、[car-color.zip](#)、[family-photo.zip](#)、[girl-portrait.zip](#)、[house-color.zip](#)、[interior.zip](#)、[pool-swimmers.zip](#)、[postcard.zip](#)、[settlers.zip](#)

プログラムの環境設定

⚙ ボタンをクリックすると、**[環境設定]**ダイアログボックスが開きます。次のように表示されます。



- **言語**: ドロップダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。自動に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。明るい または 暗い の2種類のテーマがあります。
- **初期の比率**: このパラメーターは、開いたイメージをイメージ ウィンドウに拡大/縮小する方法を設定します。このパラメーターは2つの値のいずれかを設定します。
 - **[画面に合わせる]**: イメージ ウィンドウに全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
 - **[100 %]**: イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合、イメージの一部のみウィンドウに表示されます。
- **[処理結果を RGB で保存]** (スタンドアロン版のみ): デフォルトの設定では、ソース画像が何であれ、処理画像は RGB で保存されます。ソース画像が CMYK や Lab の場合、同じモードで保存するにはこのパラメーターを無効にします (処理結果が CMYK モードで保存された場合、プログラムのイメージ ウィンドウでの表示が少し変わるかもしれません)。グレースケールでの処理結果が常に RGB で保存されます。
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。時間でソートされた使用ファイルの一覧は、📁 を右クリックすると表示されます。最大数: 設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **[コントロールパネルを常に表示]** チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。つまり、このチェックボックスがオンの場合、パネルは常に表示されます。パネルの固定を解除するには、このチェックボックスをオフにします。オフにすると、パネル中央の三角をクリックしてパネルの表示/非表示を切り替えられます。三角にマウスオーバーすると、最小化パネルが表示されます。
- **[GPUを使用]**. チェックボックスを有効にすると、GPU アクセラレーションが作動し、色付け処理時間を大幅に短縮します。コンピューターがGPUアクセラレーションをサポートしていない場合は、チェックボックスは無効になっています。
- **[バリエーション]**: 色付け結果を含むセクションの表示/非表示を切り替えます。

[環境設定] ウィンドウでの変更内容を保存するには、**[OK]** をクリックします。

既定値に戻す場合は **[既定値]** をクリックします。

印刷

AKVIS Coloriage のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。🖨️ を押すと **【印刷】** オプションが表示されます。



AKVIS Coloriage での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

【印刷の向き】では、紙の方向を設定します。**【縦】**または**【横】**から選択します。

【ページ設定】をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

【余白のリセット】をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**【比率】**、**【幅】**、**【高さ】**、**【ページに合わせる】**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、**【比率】**に値を直接入力するか、**【幅】**と**【高さ】**に値を入力します。

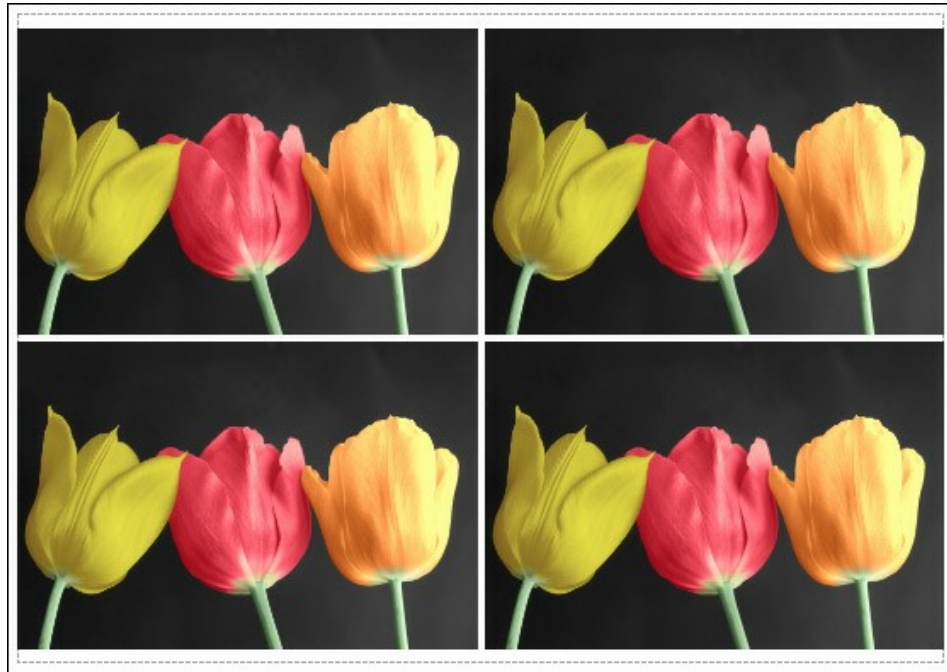
イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**【ページに合わせる】**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

【枠】を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

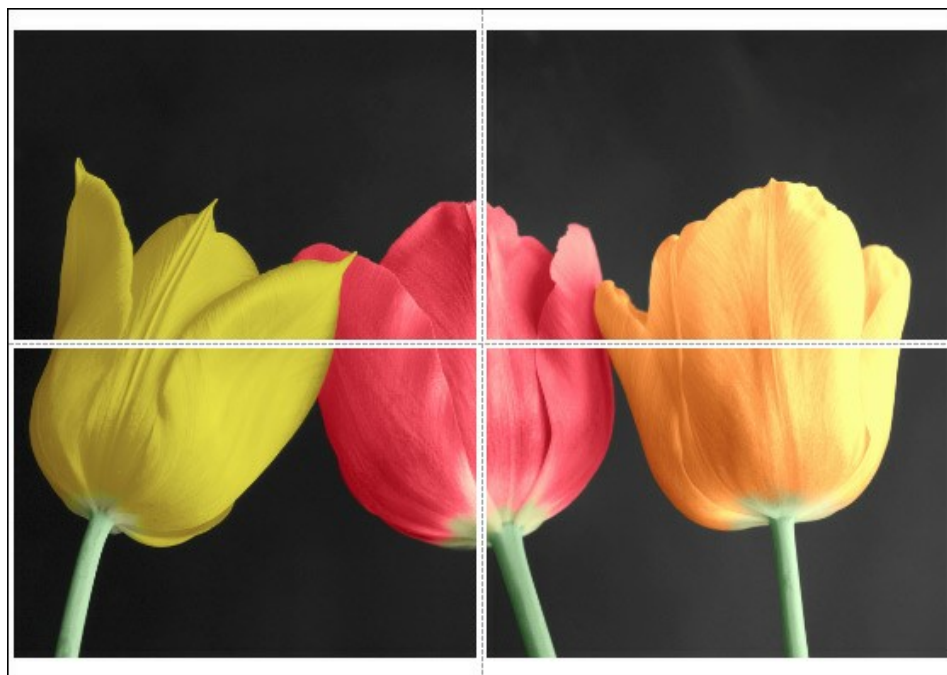
色パレットをクリックして、**【背景色】**を変更できます。

【ページ】タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



- **【割り付け】**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **【水平方向】**と**【垂直方向】**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **【間隔】**: イメージ同士の間隔を指定します。

【ポスター】タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **【ページ】**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **【のりしろ】**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **【切り取り線】**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **【ページ番号の表示】**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**【印刷】**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

【プロパティ...】ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

白黒写真の部分的に色付け

AKVIS Coloriageの操作例には、白黒写真の色付けに関する例を多く見つけることができます。写真内の一部にだけに着色することで、その部分を際立たせることができます。部分的な色付けが非常に有効なケースがあります。



写真の一部に色を付けるには、以下の手順を実行します。

ステップ 1: 白黒写真を開きます。今回は、若きアスリート達の写真を使います。



ステップ 2: ペンツール  を使って、写真内の強調したい部分に色を割り当てます。ここでは、レースに勝った少年に色を付けることとします。

少年の服、髪、目、歯、唇、ゴールテープの色を指定します。

ステップ 3: 色維持ペンツール  を使って、強調する部分(ここでは、少年とゴールテープ)のすぐ外側にラインを描画し、色を変更しない部分を指定します。

ペン ツールで描画したラインのすぐ外側に描画できない場合、写真の枠の外に描画します(ペン ツールと色維持ペン ツールの間に空間ができてしまうと、正しく処理できないため)。



ステップ 4:  をクリックして、色付け処理を開始します。

たったこれだけで、部分的に色付けした写真の完成です。



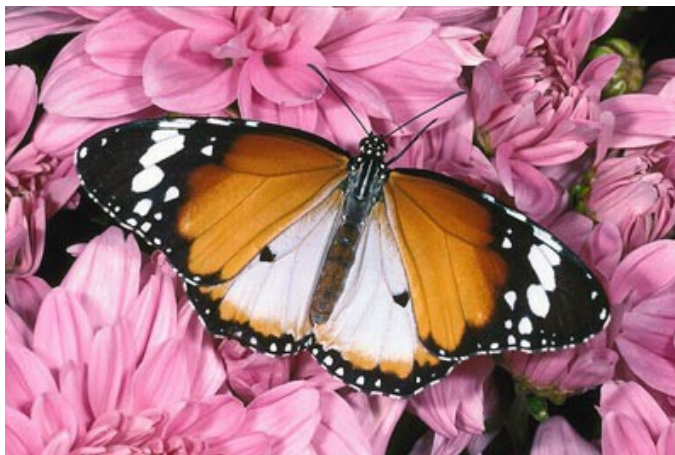
部分的な非彩色化

ここでは、他の部分を変更せずに写真の一部を非彩色化する方法を紹介します。非彩色化する領域は正確に選択する必要はありません。



このチュートリアルではプラグイン版を使用していますが、スタンドアロン版でも、同じ方法で同様の結果が得られます。

ステップ 1: フォトエディターでカラー写真を読み込みます。



ステップ 2: **AKVIS Coloriage**のプラグイン版を呼び出します。**AliveColors** の場合は、[Effects] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Adobe Photoshop** の場合は、[フィルタ] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Corel Photo-Paint**の場合は、[効果] > [AKVIS] > [Coloriage] の順に選択します。

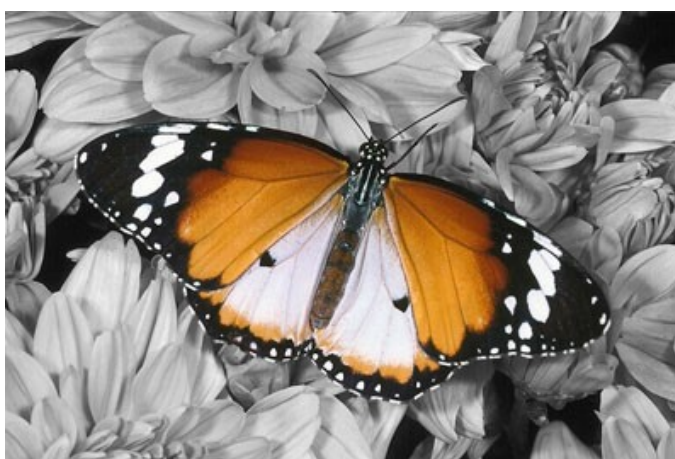
ステップ 3: **【色維持ペン】**  ツールを選択して、現在の色を維持する蝶の輪郭の内側に輪郭を描画します。蝶の触角は黒であり、非彩色化の後も同じ色になるため、輪郭を描画する必要はありません。



ステップ 4: スワッチパレットなどを使用して色をグレーに変更後、**【ペン】**ツール  を使って、蝶の外側に輪郭を描画します。



ステップ 5:  をクリックして、部分的な非彩色化の処理を開始します。



これで、写真はグレースケールになりましたが、蝶の色だけは元の状態のまま維持されます。

ステップ 6:  をクリックして、部分的な非彩色化の結果を写真に適用します。

同じ方法で、人物画の編集を行うこともできます。

部分的な非彩色化によって、写真内の強調したい部分を際立たせたり、写真の新たな見え方を紹介したりできます。



車体の色の変更

作業途中の保存データを元に、車体の色を自分の好みに合わせて変えることができます。[アーカイブをダウンロード](#)すると、元のイメージとストロークの情報が保存されたファイル(*.strokes)が含まれます。アーカイブのダウンロード先やダウンロード後の作業の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

ここでは、カラー写真の特定の色の部分のみを変更する(それ以外の部分の色は変更しない)方法を紹介します。

AKVIS Coloriageで変更するのは、車体の色だけです。その他の色(スポーツカーの屋根、ヘッドライト、ホイール、空、雪などの色)は変更しません。



このチュートリアルではプラグイン版を使用していますが、スタンドアロン版でも、同じ方法で同様の結果が得られます。

以下の手順を実行します。

ステップ 1: フォトエディターでスポーツカーの写真を開きます。



ステップ 2: **AKVIS Coloriage**のプラグイン版を呼び出します。**AliveColors** の場合は、[Effects] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Adobe Photoshop** の場合は、[フィルタ] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Corel Photo-Paint**の場合は、[効果] > [AKVIS] > [Coloriage] の順に選択します。

ステップ 3: 車体の新しい色を指定します。この際、元の色が淡い黄色であるため、処理後の色も淡い色になることに注意してください。濃い青やワインレッドにすることはできません。そのため、**[色]**または**[スワッチ]**パレットからライラック色などの淡い色を指定する必要があります。

ステップ 4: **鉛筆ツール**  を選択し、車体の輪郭をその境界の少し内側に描画します。車体の内側のパーツ(エアパイプやドアノブなど)の色は変更しないため、車体に指定した色でそれらのパーツを囲みます。

ステップ 5: **色維持ペンツール**  を選択し、車体の周りに閉じた輪郭を描画します。輪郭は、車体に隣接しているすべてのオブジェクト(背景、ヘッドライト、屋根、窓、ホイールなど)を通る必要があります。これらのオブジェクトの色は変更せず維持するからです。また、輪郭は閉じる必要があります。同様に、[色維持ペン]ツールで、エアパイプやドアノブなど、車体の内側で色を維持するパーツもマーキングします。

ヒント: フォトエディターでの選択範囲は、**[色維持ペン]**ツール を使って描画した輪郭線としてプラグインに転送されます。**鉛筆ツール**を使用して、選択範囲内にストロークを描画するだけです。



ステップ 6:  をクリックします。色付けの結果が、[処理後]タブに表示されます。



ステップ 7:  をクリックし、着色結果を適用します。

以下の写真は、別の色を指定した場合の例です。



古いポストカードに色付け

作業途中の保存データを元に、色を自分の好みに合わせて変えることができます。[アーカイブをダウンロード](#)すると、元のイメージとストロークの情報が保存されたファイル(*.strokes)が含まれます。詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

白黒の写真は、白黒の写真なりの良さがあります。しかし、グレースケールの写真をカラーに変えるだけで、いろいろと新しい面が見えてくる場合があります。ここでは、白黒の絵はがきを色付けする方法を紹介します。



このチュートリアルではプラグイン版を使用していますが、スタンドアロン版でも、同じ方法で同様の結果が得られます。

以下の手順を実行するだけで、このポストカードの印象はがらっと変わるでしょう。

ステップ 1: フォトエディターで画像を読み込みます。

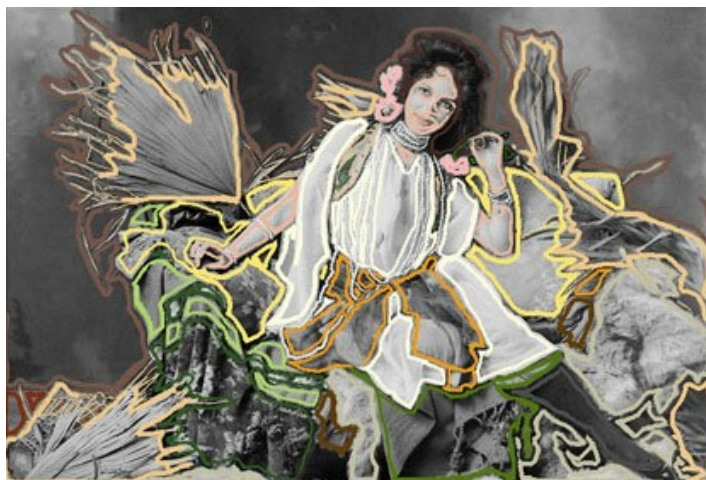
ステップ 2: **AKVIS Coloriage**のプラグイン版を呼び出します。**AliveColors**の場合は、[Effects] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Adobe Photoshop**の場合は、[フィルタ] > [AKVIS] > [Coloriage]、**Corel Photo-Paint**の場合は、[効果] > [AKVIS] > [Coloriage]の順に選択します。

ステップ 3: 画像の各オブジェクトに付ける色を指定します。



を使って、比較的大きめのオブジェクト(ガードル、ドレス、クッション、織物、ソファの毛皮など)の輪郭をその境界に沿ってゆっくりと描画していきます。

細部を色付けする場合は、より細い線を描画します。たとえば、真珠のアクセサリを色付けする場合、真珠をつないでいる糸に沿ってはみ出さないように線を描画します。目を色付けする場合は、眼球と白目の部分を区別して描画します。



ステップ 4:  をクリックして、色付け処理を開始します。色付けされた画像が[処理後]タブに表示されます。



ステップ 5:  をクリックして色付け結果を適用し、プラグイン ウィンドウを閉じます。

AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



AKVIS Artifact Remover AI — JPEG 圧縮画像の補整

AKVIS Artifact Remover AI は、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質に補整します。このソフトウェアは、無料で利用できます。ホームユーザーにも上級ユーザーにも活用いただけるツールです。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtWork — 多彩なペイント/描画技法

AKVIS ArtWork は、様々な芸術技術を写真に与えるための画像変換ソフトウェアです。油絵、水彩、グワッシュ、コミック、ペン&インク、リノカット、ステンシル、パステル、点描画法です。Artwork を使うと、デジタル写真が芸術作品に早変わり！ [詳細情報](#)



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます：写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成)、 いらぬ不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



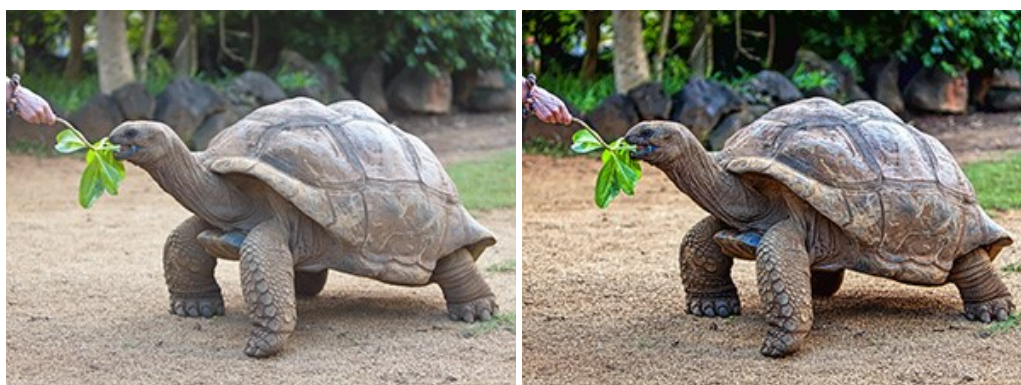
[AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換](#)

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します! ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



[AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール](#)

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



[AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果](#)

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます! [詳細情報](#)



AKVIS Frames — あなたの写真をフレームで飾りましょう

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ [詳細情報](#)



AKVIS HDRFactory — 実際に明るい画像に!

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



AKVIS Inspire AI — 芸術的な様式化

AKVIS Inspire AI 絵画のさまざまなサンプルを使用して画像を様式化します。このプログラムは、アートサンプルの配色とスタイルを写真にコピーし、新しい傑作を作成します。有名アーティストのスタイルを真似しましょう！ [詳細情報](#)



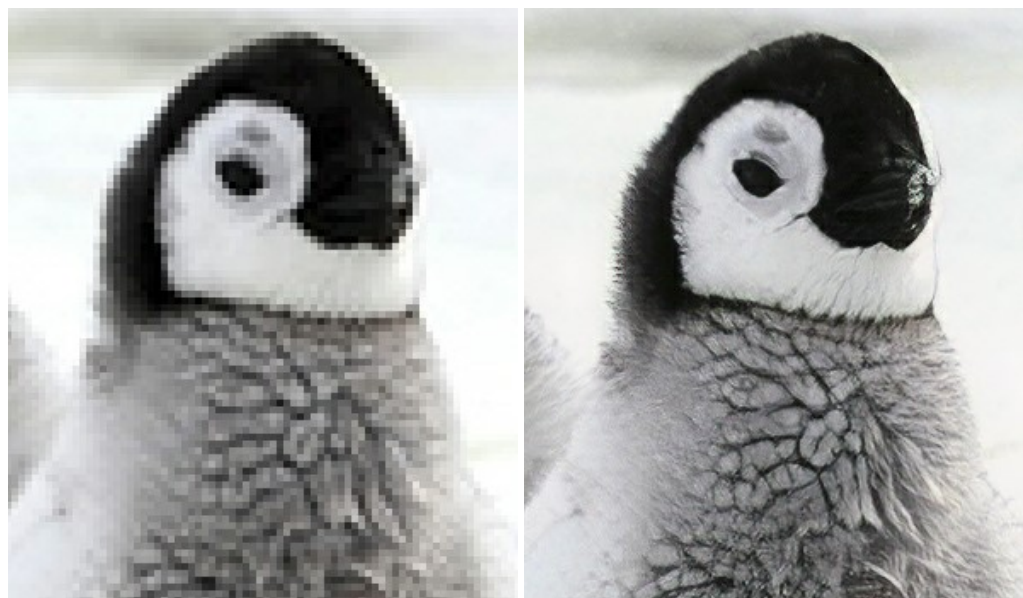
AKVIS LightShop — 光と星の効果

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雲に映る反射、暖炉の燃っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! [詳細情報](#)



AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます!

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifier AI は、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。Magnifier AI で写真の解像度と品質を向上させましょう! [詳細情報](#)



AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう!

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます！ [詳細情報](#)



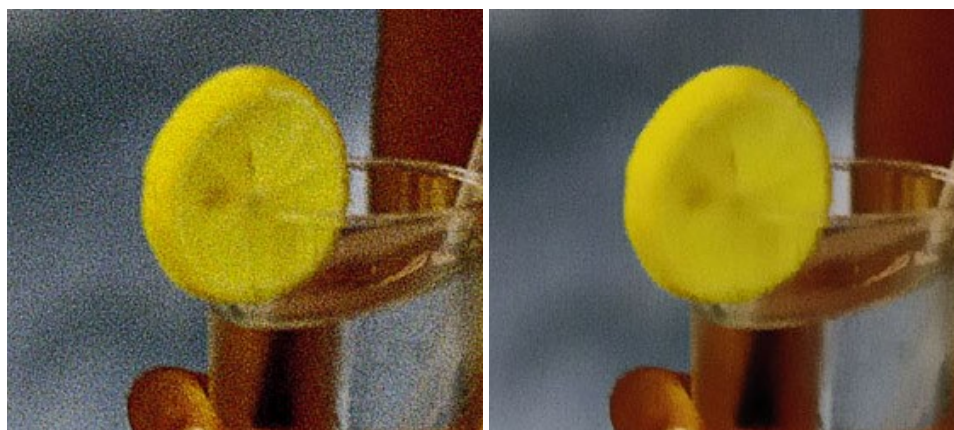
AKVIS Neon — グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ [詳細情報](#)



AKVIS Noise Buster AI — デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 [詳細情報](#)



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



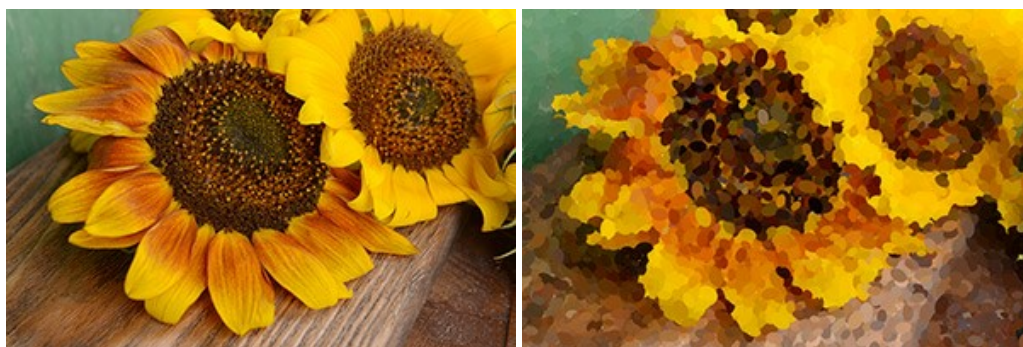
AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りださうというものです。 [詳細情報](#)



AKVIS Points — 写真に点描画法の効果を適用!

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



AKVIS Refocus AI — ビンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンボケしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 [詳細情報](#)



AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Sketch — 写真を鉛筆画に変換

AKVIS Sketch は、写真を素晴らしい鉛筆画へと自動的に変換するためのソフトウェアです。本物のようなカラーの鉛筆画、白黒のスケッチ画を作り出し、黒鉛、色鉛筆の技法を真似た効果を写真に与えることもできます。写真からスケッチ画に変換するための技法として、クラシック、アーティスティック、マエストロの 3種類と、それぞれプリセットが用意されています。AKVIS Sketch を使うと、プロの芸術家になったような気分を味わえるでしょう! [詳細情報](#)



AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Watercolor — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。Watercolor には、写真変換技法が二種類用意されています。水彩 (クラシック) または水彩 (輪郭)を選択できます。写真が本物の絵画のようになります! [詳細情報](#)

